

令和4年度「南区基本計画推進部会」第1回会議 議事録

日 時：令和4年4月12日（火）午前9時30分～午前11時

場 所：南区役所第2会議室

出席者：

氏 名	所 属	備 考
天野 広一	唐橋学区自治連合会，南区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会，南少年補導委員会	部会長
田中 一明	九条学区自治連合会，南区社会福祉協議会	
尾崎 嘉彦	京都市立塔南高等学校校長	
山田 正志	京都中小企業家同友会南支部	
横江 美佐子	南青少年活動センター所長	
小牧 徳満	クミンプロジェクト代表，大藪小学校 PTA 会長	
井實 嘉月	市民公募委員	

1 開 会

2 挨拶

部会長 天野 広一

南区長 並川 哲男

3 議 題

(1) 令和3年度の実績（報告）

(2) 令和4年度の事業計画（案）

(1) 令和3年度の実績（報告）

山田委員

1つ1つの事業をきちんと評価していくべき。事業ごとに参加人数など目標を設定し、達していない事業については、改善点を検討していくなど次につながるような評価があればよいのではないかな。

横江委員

フォトコンテストの応募人数は増えているのか。

事務局

第1回、第2回は南区の魅力的なスポットの写真を募集したが、第3回は計画を策定した年度でもあるので、計画の周知に主眼を置き、計画のキャッチフレーズにある「笑顔」をテーマとした。そのため、顔を出すことに抵抗がある方が多かったと思われ、数は減少している。

横江委員

フォトコンテストは多くの行政区で実施しており、若い方でも取り組みやすい。しかし、数を集めることが難しい。

田中委員

コロナ禍におけるオンラインでの会議等について、高齢者は機械に弱いため、閲覧（参加）できる方が限られてしまう。子どもたちに教えてもらえるような機会があると良いのではないかな。

尾崎委員

高校では入学式や他校との交流などオンラインの活用が増えている。小学校でもギガスクール構想が進められており、小学生でも機械の使い方を高齢者の方に教えられるようになると思う。

天野部会長

文化の面でいうと東寺や西寺跡などを巡る史跡巡りが最近人気を集めている、一方で東寺の周りなどは民泊が増え、住環境を心配する声も多い。

小牧委員

より多くの方に情報を届けるため、分かりやすく目立つ広報が必要だと思う。フォトコンテストの結果がしんぶん南区版に掲載されていたのは良かった。さらに広げてほしい。バスをラッピングして南区の事業について宣伝しても良いのではないかな。

天野部会長

先ほど山田委員が指摘されたような事業の評価を行いながら、既存の事業をどう進化させていくか考えていかなければいけない。高校生の動きが活発になってきているので、若い力が発揮できる場があると良い。

山田委員

若い力は非常に大切。中小企業家同友会でも活躍できる場を作っていきたい。また、「誰ひとり取り残さない」について、どういった方が困っているのか把握するため、関係者が集まってブレインストーミングをする機会があっても良いのではないかな。

(2) 令和4年度の事業計画（案）

天野部会長

ここに書かれている取組はすでに動き出しているものが多い。南区として自慢できるような取組ができたらいいい。

横江委員

区民応援事業の休止について、財政的な問題もあると思うが、今後、どのように区民のまちづくり活動の支援の在り方について検討していくつもりか。

事務局

課題として、補助年限後の活動の継続性の難しさがあげられるほかにも、申請件数自体が減少している状況がある。一方で、京都府、国、企業等の補助金も充実してきている。昨年度の採択団体に中間ヒアリングをした際、ある団体から他団体との連携により、活動経費があまりかからなくなってきたという話を聞いており、それも1つの方向かと思う。今まで補助してきた団体へのヒアリングも踏まえながら、支援の在り方について検討していく。

横江委員

他団体との連携をどのように促進していくのかは検討いただきたい。

田中委員

昨年度3団体を採択したが、補助金がなくなっても大丈夫か。

事務局

3団体のうち1団体目は先ほど申し上げたように経費をかけずに活動していけるとのこと、2団体目は昨年度と同じ取組は考えていないとのこと、3団体目は他の補助金を活用して活動していけるとのこと。なお、補助金の説明の際に補助年限は3年だが、毎年審査があり、3年を確約するものではないことを伝えている。

田中委員

区民参加型のイベントについて、さらに参加したくなるような仕掛けづくりが必要ではないかな。

井實委員

高校生のとき、洛南イオンと南警察署と連携して高齢者を対象に啓発を行った。報告内容を見ても、若者と高齢者で事業の対象が分けられていると感じるので、各事業を通じて多世代が交流できると良い。

事務局

大学がない行政区であるため、高校生の力に期待している。引き続き、塔南高校にも協力いただきたい。

尾崎委員

これまで一斉清掃や防災で連携しており、生徒に呼びかけるとよく手が上がる。桂川イオンで職業体験イベントがあり、本校の生徒がボランティアで参加した。そうした機会が増えるといい。イオンが3店舗あるなど、地域の強味を活かしていくべき。

田中委員

過去と比べると、学校が地域に開かれるようになった。

山田委員

過去に明治村で謎解きイベントが盛り上がっていた。歴史文化発見ウォーキングについて、そうした内容を盛り込んで、高校生や大学生に企画してもらえると良いのではないかな。

小牧委員

各種事業の実施に当たっては、顔を合わせて関係を作っていくことも大切。安心安全に繋がる。

天野部会長

ふれあいまつりはなくなるのではなく、形を変えて新たに生まれ変わること期待している。

4 閉 会